

d/d. 皮膚のかゆみ



- 適切な蛋白質、脂肪酸、ビタミン、ミネラルなどの皮膚のための栄養をバランスよく補給
- オメガ-3脂肪酸の量を調節することで、栄養学的に炎症を管理し、皮膚・被毛の健康を維持
- 抗酸化作用があるビタミンE、ビタミンC、ベータカロテンを配合し、正常な免疫と皮膚バリアを維持
- 食物アレルギーの原因となりにくい消化性の高い炭水化物とバリエーション豊富な蛋白質（新奇蛋白質）を使用

〈犬用〉ドライ製品：エッグ&ライス、ダック&ポテト、サーモン&ポテト
缶製品：ラム&ライス、ダック&ポテト

〈猫用〉ドライ製品：ダック&グリーンピース

体質や好みに合わせて選択できます。

z/d. 食物アレルギーによるかゆみや炎症



- 食物アレルギーの原因となる可能性が極めて低い加水分解蛋白質を使用
- 食物アレルギーの原因となりにくい高消化性の炭水化物を使用
- オメガ-3脂肪酸の量を調節し、栄養学的に炎症を管理し、皮膚・被毛の健康を維持

〈犬用〉ドライ製品：ULTRAアレルギー・フリー、低アレルギー
缶製品：ULTRAアレルギー・フリー

〈猫用〉ドライ製品：低アレルギー
缶製品：ULTRAアレルギー・フリー

■ 食物アレルギーによる胃腸炎、大腸炎などの管理にも適応

低アレルギー トリートツ

〈犬用〉皮膚炎、食物アレルギー

- 〈犬用〉z/d d/d i/d と一緒に与えることができるおやつです

Hill's ヒルズのプリSCRIPTION・ダイエット
かゆみをともなう皮膚病管理用フード

d/d. z/d. 低アレルギー トリートツ

※獣医師の指示にしたがって与えてください。

d/d. 皮膚のかゆみ

〈犬用〉ドライ 1kg, 3kg, 7.5kg
缶詰 370g

〈猫用〉ドライ 2kg



z/d. 食物アレルギーによるかゆみや炎症

〈犬用〉ドライ 1kg, 3kg, 7.5kg
缶詰 156g, 370g

〈猫用〉ドライ 500g, 2kg
缶詰 156g



低アレルギー トリートツ 皮膚炎、食物アレルギー

〈犬用〉ドライ 180g



病院名

販売元
Hill's 日本ヒルズ・コルゲート株式会社
〒135-0016 東京都江東区東陽3-7-13

販売総代理店
大日本住友製薬株式会社
〒563-0001 大阪府福島区海老江1-5-51

愛犬愛猫に関する情報 ヒルズホームページ <http://www.hills.co.jp>

※製品のデザイン・重量などは変更することがあります。

2008.06



犬と猫のかゆみをともなう皮膚病のおはなし



かゆみをともなう皮膚病とは

かゆみは皮膚病にかかったペットに非常に多くみられる症状です。かゆみをともなう皮膚病の多くは、アトピーやノミアレルギーなどのアレルギー性のもや、細菌や寄生虫による感染症などです。アレルギー性の皮膚病では、皮膚そのものが弱くなることで皮膚のバリア機能の低下につながり、それが炎症とかゆみを引き起こします。それを繰り返すことで症状の悪化につながってしまいます。かゆみをともなう皮膚病では、かゆみの原因を取り除くと同時に、皮膚の健康を回復することが重要になります。



※定期的に獣医師の診察をお受けください。

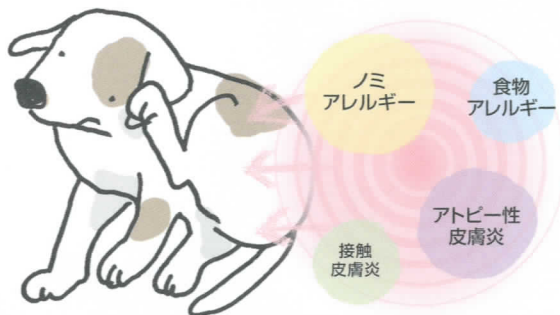
かゆみの原因

かゆみを引き起こす原因には、いろいろなものがあります。

■ 外的アレルギー要因

ダニ、ハウスダストなどのアレルギー、細菌、ウイルスなどの微生物など

外的アレルギー要因



■ 皮膚のバリア機能の低下

ドライスキン、発汗、脂性、フケ症

! こんな症状が出たら要注意

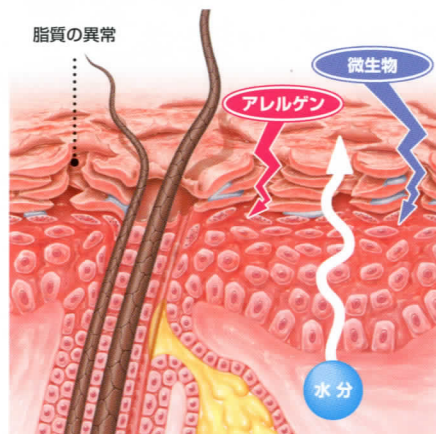
日ごろからペットの行動をチェックして、以下のような症状がみつかったら、早めに動物病院にご相談ください。

- 毛の密度が薄くなった
- 毛の色が薄くなった、変色した
- 抜け毛が増えた
- 皮膚が薄くなったような気がする
- 毛刈りした部分の毛の成長が遅い
- フケ症である
- 手脚の関節部分（ひじ、ひざ）に脱毛、紅い斑点、かさぶたがある

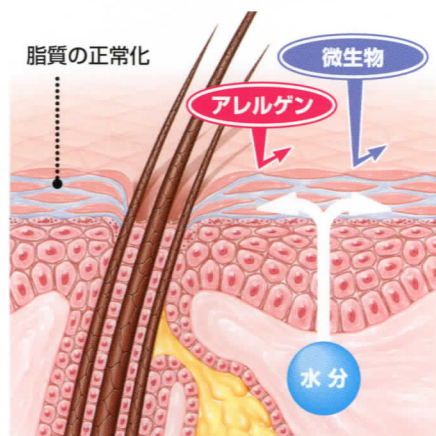
かゆみのしくみ

皮膚の脂分が不足すると、角質層の水分不足を招きます。角質層の水分不足は皮膚のバリア機能の低下につながり、外的アレルギー要因が侵入しやすくなってしまいます。その結果、アレルギー反応や感染症状などがかゆみとなって発生します。

かゆみのメカニズム



バリア機能低下状態の皮膚



正常な皮膚

皮膚のバリア機能が正常化した皮膚では、アレルギーや微生物の侵入が妨げられています

食事管理のポイント

- 必須脂肪酸（オメガ-3、オメガ-6脂肪酸）および総合的に栄養バランスの優れた食事を与えましょう
炎症を抑えるオメガ-3脂肪酸、バリア機能に役立つオメガ-6脂肪酸、皮膚の再生に役立つ蛋白質、皮膚の健康維持に欠かせないビタミン・ミネラルなど、総合的な栄養が必要です。
- アトピー体質の場合は、食物アレルギーも考慮して、蛋白源に配慮した食事を与えましょう
- やみくもなサプリメントの使用は避けましょう
栄養バランスを崩し、必要なミネラルの摂取が妨げられたり、それが原因となって炎症を起こすことがあります。

ホームケア

- 獣医師が指示した食事以外は与えないようにしましょう
治療や食事の変更についても獣医師に相談しましょう
- 獣医師の指導にしたがって、かゆみを抑えるための適度なシャンプーを行いましょう
- ペットが過ごす環境の温度と湿度を適切に管理しましょう
高温多湿、極度な乾燥はかゆみの増強につながります。
- あまりかまいすぎないようにしましょう
ペットがかゆみを示すしぐさに飼い主さんが過剰に反応すると、それが飼い主さんの気を引く行動と誤解して、必要以上に掻いて、皮膚に過剰な傷をつくる場合がありますので、注意しましょう。

